

レジメン名 RAM+DTX

出典 サイラムザ適正使用ガイド2020年11月作成  
Lancet.384(9944):665-73(2014)  
Lung cancer.99:186-93(2016)

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患 非小細胞肺がん

進行・再発  
補助療法(術前・術後)

投与速度の変更(サイラムザ)  
Grade1または2のinfusion reaction:  
投与速度を50%減速(その後の全ての投与においても減速)

投与減量の基準(ドセタキセル)

ANC	500/mm <sup>3</sup> 未満(1週間を超える)、FNの発現 回復後、50mg/m <sup>2</sup> に減量
-----	--

投与減量の基準(サイラムザ)

1日尿蛋白量 <sup>※</sup>	2g/日以上3g/日未満 再開する場合は、8mg/kg→6mg/kgに減量
その他	生命を脅かさなないGrade3の有害事象(疲労、食欲不振、発熱等) 減量なし or 8mg/kg→6mg/kgに減量 Grade4の発熱・臨床検査値異常 減量なし→8mg/kg→6mg/kgに減量

投与中止の基準(ドセタキセル)

ANC	1500/mm <sup>3</sup> 未満	Plt	10万/mm <sup>3</sup> 未満
AST,ALT	100IU/Lを超える	T-bil	1.5mg/dLを超える

投与中止の基準(サイラムザ)

1日尿蛋白量 <sup>※</sup>	2g/日以上
その他	Grade3以上のinfusion reaction ネフローゼ症候群 症候性のGrade2またはGrade3以上の高血圧 Grade2以上のその他副作用(脱毛を除く)

1クール期間 21日 総クール数 PDまで  
(次のクールまでの標準期間)

※UPCRで代替可能

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
ラムシルマブ(サイラムザ)	10mg/kg	生食250mL	60分 <sup>※1</sup>	day1
ドセタキセル	60mg/m <sup>2</sup>	輸液250mL	60分	day1
ペグフィルグラスチム(ジーラスタ)	3.6mg	皮下注		day2以降 <sup>※2</sup>
※1 初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮可能				
※2 がん化学療法開始14日前から投与終了後24時間以内は避ける				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1 ① グラニセトロン3mgハック+デキサート6.6mg+ホラミン注5mg(15-30min) ② サイラムザ10mg/kg+生食250mL(60min <sup>※</sup> ) ③ 生食50mL(2クール目までは経過観察のため60分、3クール目以降は全開) ④ ドセタキセル60mg/m <sup>2</sup> +輸液250m(60min) ⑤ 生食50mL(フラッシュ用)
day2以降 <sup>※2</sup> ① ジーラスタ3.6mg(皮下注)
<内服> day2-3 デカドロン4mg 2錠 分2